

◆おた高齢者施策推進プラン 令和6年度評価指標進捗状況◆

計画の進行管理及び評価指標について、第9期計画では以下の指標を評価指標として掲げております(おた高齢者施策推進プランP.139,140)。指標の評価結果と関わる個別事業の実績等を推進会議で報告し、確認・評価をいただきながら、スパイラルアップを進めていきます。

●基本目標1● 一人ひとりが生きがいや役割を持って輝けるまち

番号	指標	設定の主旨	
1	高齢者人口に占めるシルバー人材センター会員数及び就業延人数	社会活動に参加する高齢者に対する支援の効果・状況を測る	
目標		達成 状況	
達成状況に対する理由			
<p>○会員の仕事探しの効率化のため、ICTを導入するとともに、IT機器活用の促進のため、会員による会員のためのスマートフォン操作相談会を頻繁に実施することで退会者を抑制した。</p> <p>○新規会員を増やすために、蒲田駅商業ビル東西連絡通路において就労相談及び大田区報の一面掲載、新聞折込チラシ等による広報活動を推進することで新規会員が増加した。</p>			
令和5年度実績	・会員数 3,094 人(高齢者人口の 1.88%) ・就業延人員 214,132 人日		
令和6年度実績	・会員数 3,160 人(高齢者人口の 1.93%) ・就業延人員 205,920 人日		
施策	施策1 高齢者の就労・地域活動の支援	施策を支える事業・取組	(3)シルバー人材センターへの支援
番号	指標	設定の主旨	
2	絆サポートの利用件数	住民主体による生活支援に対する地域の理解度及び活用状況を確認する	
目標		達成 状況	
達成状況に対する理由			
<p>○絆サポートの利用件数及び利用回数が減少となった。担い手確保に係る登録説明会の参加人数とサポーター登録者数は前年を上回る結果となっているため、引き続きサポーターを確保しつつ、利用者とのマッチング部分への対応策を検討し、登録者数と稼働率の向上を目指す。</p>			
令和5年度実績	・利用件数 2,037 人 ・利用回数 7,551 回		
令和6年度実績	・利用件数 1,949 人 ・利用回数 7,279 回		
施策	施策2 多様な主体による介護予防・生活支援の充実	施策を支える事業・取組	(2)住民主体のサービスの拡充

番号	指標	設定の主旨	
3	介護予防の場にリハビリ等の専門職が参画している件数・箇所数	効果的・効率的な介護予防の実践に結び付けるため、専門職の関与を強化する	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
○前年度に引き続き、リハビリテーション専門職、東京都健康長寿医療センター、各地域包括支援センター、高齢福祉課にて情報共有会を実施し、連携を深めてきた。全体として前年よりも派遣件数及び派遣時間が減少したが、情報共有会を前年と同回数実施し、派遣件数が増加した地域もあったため、横ばいと評価する。			
令和5年度実績	・地域リハビリテーション活動支援事業 115 件(専門職を派遣した時間数 182.5h) ・各地域で情報共有会を実施(4回)		
令和6年度実績	・地域リハビリテーション活動支援事業 58 件(専門職を派遣した時間数 101h) ・各地域で情報共有会を実施(4回)		
施策	施策3 介護予防・フレイル予防の推進	施策を支える事業・取組	(1)一般介護予防事業
番号	指標	設定の主旨	
4	フレイル予防講座の参加者数	介護予防に取り組む高齢者や地域の担い手の拡充の状況を測る	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
○限られた講座回数の中で、1回当たりの対象者が少ない団体向け講座の回数を増やし、実践講座の回数を減らしたため、講座全体としての参加者数は減少した。一方で、団体講座において、高齢者見守り推進事業者という新たな団体向けに講座を実施したことで、さらなるフレイル予防の普及につながったと評価する。			
令和5年度実績	・フレイル予防リーダー養成講座 28 人 ・フレイル予防実践講座 32 人(第1回 8人、第2回 11 人、第3回 13 人) ・フレイル予防専門職養成講座 71 人(第1回 42 人、第2回 29 人) ・フレイル予防個別支援事業者、団体向け養成講座 72 人(第1回 39 人、第2回 15 人、第3回 18 人)		
令和6年度実績	・フレイル予防リーダー養成講座 28 人 ・フレイル予防実践講座 28 人(第1回 12 人、第2回 16 人) ・フレイル予防専門職養成講座 54 人(第1回 33 人、第2回 21 人) ・フレイル予防個別支援事業者、団体向け養成講座 43 人(第1回 13 人、第2回 3 人、第3回 19 人、第4回 8人)		
施策	施策3 介護予防・フレイル予防の推進	施策を支える事業・取組	(2)おたフレイル予防事業

●基本目標2● サービスが必要になっても、自分らしい暮らし方を実現できるまち

番号	指標	設定の主旨	
1	健康寿命の延伸	要介護2以上に認定される平均的な年齢により、介護予防・重度化防止に向けた取組状況を確認する	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
○前年度比でほぼ横ばいの健康寿命となった。東京都全体における要介護2以上健康寿命も大田区同様、ほぼ横ばい(男性82.83歳、女性86.06歳)である。引き続き各種取組を行い、延伸に努める。			
令和5年度実績	・男性 82.35 歳 / 女性 85.75 歳		
令和6年度実績	・男性 82.35 歳 / 女性 85.74 歳		
施策	施策4 介護人材対策の推進とサービス基盤の充実・医療と介護の連携	施策を支える事業・取組	(7)機能訓練・口腔機能の向上等に向けた取組 (9)サービスの向上に向けた情報の提供・公表
番号	指標	設定の主旨	
2	介護サービス従事者の定着率の向上(離職率の縮小)	介護人材の確保・育成・定着に向けた取組の効果を確認する	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
○調査中のため、速報値であるが、離職率が13.2%から14.5%に上昇する結果となった。調査終了後に、採用・再就職状況なども含めて、さらなる分析を行っていく。引き続き、業務効率化や介護人材の確保・育成・定着の取組を進め、介護サービス従事者の定着率の向上に努めていく。			
令和5年度実績	・離職率 13.2%		
令和6年度実績	・離職率 14.5%(速報値)		
施策	施策4 介護人材対策の推進とサービス基盤の充実・医療と介護の連携	施策を支える事業・取組	(4)業務の効率化に向けた取組 (5)外国人人材を含む多様な人材の確保に向けた取組 (6)介護人材の定着・育成(資質向上)に向けた取組

番号	指標	設定の主旨	
3	地域密着型サービスの介護基盤の整備状況	要介護者等の在宅生活を支援するサービスの充実度を測る	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
○令和5年度に選定した2施設については、令和7年3月に開設し、出来高の補助金を交付した。令和6年度は1施設を選定したが、工事計画が遅延し出来高が発生しなかった。2施設が開設したこと、新規に1施設を選定したため、達成状況の評価は横ばいとする。			
令和5年度実績	(整備費補助実績) ・認知症対応型グループホーム 1か所 令和7年3月開設予定 ・小規模多機能型居宅介護 1か所 令和7年3月開設予定		
令和6年度実績	(整備費補助実績) ・認知症対応型グループホーム 1か所 令和7年3月開設(他、1か所選定、未着工) ・小規模多機能型居宅介護 1か所 令和7年3月開設		
施策	施策4 介護人材対策の推進とサービス基盤の充実・医療と介護の連携	施策を支える事業・取組	(1)地域密着型サービスの整備支援

●基本目標3● 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

番号	指標	設定の主旨	
1	見守りキーホルダー登録者数及び見守り推進事業者登録数	見守りキーホルダーの登録者数や見守り推進事業者の登録数の推移から、見守りネットワークの充実度を測る	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
<p>○見守りキーホルダー事業については、チラシの配布のほか、区公式Xでの広報も行った。また、民生委員及び地域包括支援センター職員等による熱中症予防事業の訪問時などに、ひとり暮らし登録と併せて登録勧奨を実施した結果、登録件数の増につながった。</p> <p>○見守り推進事業者の登録については、ホームページで広報を行っており、事業所の閉鎖により脱退1件、新規登録1件であった。</p>			
令和5年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りキーホルダー登録件数 38,394 人(うち新規 4,614 人) ・見守り推進事業者登録数 48 社 		
令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りキーホルダー登録件数 39,831 人(うち新規 4,689 人) ・見守り推進事業者登録数 48 社(うち新規1社、脱退1社) 		
施策	施策7 見守り体制の強化・推進	施策を支える事業・取組	(1)高齢者見守りネットワーク事業の充実
番号	指標	設定の主旨	
2	個別避難計画の作成状況	災害時における高齢者の安全確保に資する体制の整備状況について確認する	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
<p>○個別避難計画作成にあたり、対象者への事前調査により水害時ハイリスクの方の把握に努めるとともに、ケアマネジャーを対象に研修を実施し、より実行性の高い個別避難計画の作成を進めることができた。</p>			
令和5年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画を新規または更新で作成した件数 219 件 (うち高齢者を対象とし、ケアマネジャーに委託して作成された件数 109 件) 		
令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画を新規または更新で作成した件数 237 件 (うち高齢者を対象とし、ケアマネジャーに委託して作成された件数 88 件) 		
施策	施策8 災害時等に備える体制の強化	施策を支える事業・取組	(2)個別避難計画の作成

●基本目標4● 思いやりの気持ちで互いに助け合い、尊厳をもって暮らせるまち

番号	指標	設定の主旨	
1	おいじたく事業への参加者数	事業を通じ、権利擁護・成年後見に対する区民への浸透度を測る	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
<p>○おいじたくセミナーを令和5年度に引き続き年6回実施したこと、また、令和4年度からおいじたく講演会を開催するなど、区民の方へおいじたくを考える機会や選択肢を確保している。</p> <p>○元気なうちからおいじたくの備えが重要であることを啓発する「おいじたくパンフレット」を作成し、後見制度についての周知を図っているとともに、おいじたく推進事業チラシを作成し、相談会・セミナー・講演会の周知を図っている。</p>			
令和5年度実績	・おいじたく相談会 74組 ・合同相談会 18組 ・おいじたくセミナー 189人 ・おいじたく講演会 127人		
令和6年度実績	・おいじたく相談会 86組 ・合同相談会 21組 ・おいじたくセミナー 206人 ・おいじたく講演会 178人		
施策	施策9 権利擁護支援・個人の尊重	施策を支える事業・取組	(1)成年後見制度の利用促進 (2)おいじたくの推進
番号	指標	設定の主旨	
2	地域ケア会議個別レベル会議の開催回数 ・支援困難ケース ・自立支援ケース	地域の方の参画と多職種連携により、地域課題の共有と解決及び自立支援等に向けた取組を推進する	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
<p>○地域ケア会議個別レベル会議を継続的に開催し、高齢者の個別課題解決に向けて多職種連携を行いながら適切な支援につなげると同時に、必要に応じて地域課題として取りまとめ、地域ケア会議日常生活圏域レベル会議の議題に挙げる事ができたと評価する。</p>			
令和5年度実績	・開催回数:106回(内訳:大森45回、調布7回、蒲田40回、糀谷・羽田14回) ・ケース件数:支援困難ケース 47件、自立支援ケース 74件		
令和6年度実績	・開催回数:84回(内訳:大森39回、調布7回、蒲田34回、糀谷・羽田4回) ・ケース件数:支援困難ケース 44件、自立支援ケース 50件		
施策	施策11 地域共生社会を見据えた地域包括ケアの体制づくり	施策を支える事業・取組	(3)地域ケア会議の開催

番号	指標	設定の主旨	
3	認知症サポーター養成講座及びステップアップ研修の受講者数	認知症の人とその家族も含めた地域での共生に向け、認知症に対する理解を深めるため、受講の推進を図る	
目標		達成状況	
達成状況に対する理由			
○ステップアップ講座開催のノウハウが各基本圏域へ浸透されたことにより、前年度と比較して開催回数、受講人数ともに倍増した。認知症の基礎知識・理解をさらに深め、より実践的な講座を受講したサポーターが増えたことで、「認知症になっても安心して住み続けられるまち、おおた」へ着実に近づいている。			
令和5年度実績	・認知症サポーター養成講座 95回 2,190人 ・ステップアップ研修 6回 148人		
令和6年度実績	・認知症サポーター養成講座 63回 1,488人 ・ステップアップ講座 13回 281人 ※令和6年度より、「ステップアップ研修」から「ステップアップ講座」に名称変更		
施策	施策12 共生と予防を軸とした認知症高齢者への支援	施策を支える事業・取組	(1)認知症サポーター養成講座事業